

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105 - 78	中学校	技術・家庭	技術・家庭 (技術分野)	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
6 教図	技術 006-73 技術 006-74	新 技術・家庭 新 技術・家庭	技術分野 明日を創造する 技術分野 明日を創造する	スキルアシスト

1. 編修の基本方針

～ 技術の学びを創造する ～

生産年齢人口の減少、人工知能 (AI) の飛躍的な進化、技術革新、グローバル化の進展などによって、生活や社会の環境は大きく変わってきています。そのような状況の中で、これからの未来を生きる中学生には、自らの手で生活や社会の問題を解決し、未来を切り拓く力が求められています。

この教科書は「技術の学びを創造する」をテーマに、技術分野の学びによって、予測困難な時代の変化に、柔軟に対応できる力を育成することを目指し、編修しました。

特色

1

技術を見つめる

**興味・関心を高め、
技術の見方・考え方を養う
ことができる教科書**

中学校で初めて学ぶ「技術」への興味・関心を高められるよう、巻頭資料や各編第1節に「技術を見つけよう」を設け、生活や社会に「技術」がいかされている例を多数掲載しました。各節冒頭「めあて」では、育成すべき資質・能力を明確に示し、見通しをもって学習に取り組めるよう構成しました。また、技能資料を別冊「スキルアシスト」にまとめることで、設計・計画や実習に活用しやすいよう工夫しました。



▲ p16-17 「技術を見つけよう」

特色

2

技術をいかす

**技術による問題解決に
主体的に取り組む
ことができる教科書**

技術による問題解決に段階的に取り組めるよう、「問題解決の流れ」を新設し、4コマ漫画で親しみをもって学べるよう工夫しました。問題解決の流れを捉えるとともに、設計・計画に必要な知識・技能を丁寧に取り上げ、主体的に問題解決に取り組むことができる資質・能力の育成を目指しました。

各節の「見つける」(問題発見)により、身近な問題と知識を結びつけ、学んだ知識・技能を設計・計画にいかせることに気づける構成にしました。



▲ p36-37 「問題を解決する流れを考えよう」

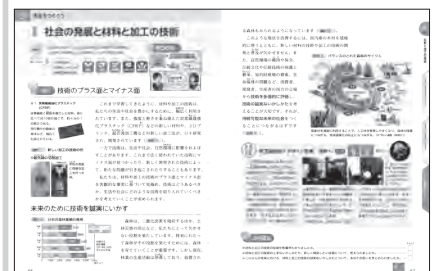
特色

3

未来をつくる

**社会の問題を自ら考え、
解決に取り組む力を
育成する教科書**

生活や社会の諸問題を自らの問題として捉えられるよう、第3章「社会の発展と技術」では環境、共生、情報モラルなどに関わる資料やコラムを掲載しました。また、先輩からのメッセージや、社会で活躍する技術者の思いと取り組みを紹介することで、中学校で「技術」を学ぶ意義や社会の中での問題解決の大切さに気づかせ、進路選択や職業観・勤労観の育成に寄与できるよう構成しました。



▲ p66-67 「社会の発展と技術」

2. 対照表

教育基本法第2条第1号～5号の趣旨を十分に反映すべく、本書を編修しました。

図書の内容・構成		特に意を用いた点や特色	該当箇所	
共通	配列	●学習指導要領の趣旨を踏まえ、A～D編を1章「技術を見つめよう」、2章「技術をいかそう」(D編は2・3章)、3章「未来をつくろう」(D編は4章)で構成しました(第1号)。	p14-69、p70-111、p112-171、p172-245	
	安全・衛生  	●安全や衛生に配慮して、実践的で体験的な活動に取り組んでいけるよう、 学習全体に対する安全のページや各編に特化した安全のページ を設けました(第3号、第4号)。 ▶ p136-137「実習の安全な進め方を知ろう」	p12-13、p34-35、p84-85、p136-137、p192-193	
	問題解決	●A～C編の2章、D編の2・3章冒頭に、 生徒に親しみのある漫画 を用いた問題解決の流れを学べるページを設け、生徒が主体的に問題解決に取り組めるようにしました。(第1号、第2号)。 ● 問題解決の手順を丁寧に示すことで、技術をいかした問題解決能力を育むことを目指しました(第2号) 。 ●生徒が自ら主体的に問題解決に取り組むことができるよう、幅広い題材例を紹介しています。(第1号、第2号)。 p196-197▶ 「問題を解決する流れを考えよう」	p36-37、86-87、138-139、196-197、222-223 p36-64、86-106、138-166、196-218、222-240 p54-59、62-63、96-99、102-105、154-161、164-165、208-213、216-217など	
	設計・計画	●設計・計画をする上で必要となる知識・技能を丁寧に紹介し、巻末のワークシートを活用することで、 生徒が主体的に設計・計画、実習に取り組めるよう工夫 しています(第1号、第2号)。	▶ p146-147 「電気回路部分の設計に必要な要素」	p43-53、91-95、146-153、202-207、228-231
	技ビト スゴ技  	●社会で活躍する技術者や、さまざまな製品に込められた技術などを紹介することで、ものづくりにおける 工夫・創造することの大切さや、製品をつくりだす責任や倫理観 などを伝えるとともに、 職業観、勤労観の育成 を目指しました(第1号、第2号、第5号)。 ▲ p167「衣服を立体的に編む技術」 ▶ p65「世代を超えて受け継がれる碁盤・将棋盤」	▶ p22、65、67、107、109、167、169、191、241など	
	巻頭資料 (技術のガイダンス)	●身近な技術を多数取り上げ、中学校で初めて学ぶ 技術への興味・関心 を高め、 主体的で対話的な学習 ができるよう工夫しました。(第1号、第2号)。 ●男女が協力して作業している姿を写真やイラストで示しました(第3号)。 ●小学校で学んできたことと技術の学習との関連を示しました(第1号)。 ● 多様な生徒の実態に対応 できるように、教室環境を整える必要があります。どんな教室の環境でも授業ができるように配慮しました。(第3号)。 ●生徒に身近な自転車の問題解決例として紹介し、主体的に 技術における見方・考え方を働かせた問題解決 に取り組めるよう工夫しました(第1号、第2号、第3号)。 ▲ p6-7 「技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る」	p4-5 巻頭③ 巻頭③-p1 p12-13 p8-9	

<p>A 編 材料と加工の技術</p> <p>1 章 2 章 3 章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●材料と加工の技術が、身近にある製品や防災・減災にいかされていることを示し、興味・関心を高めることで主体的で対話的に学習に取り組めるよう工夫しました（第1号、第2号、第3号）。 ●木造建築や木材の伝統的な接合技術の例などを紹介し、日本の伝統・文化を、誇りを持って継承していくことの大切さに気づかせるようにしました（第5号）。 ●ペットボトルを例に製品に込められた工夫を調べ考えることで、社会的・環境的・経済的な視点で技術を評価し、活用する能力を育成することを目指しました（第1号、第3号）。 ●超節水ノズルの開発者のインタビューを取り上げ、製品に込められた思いや製品を開発の工夫を紹介し、主体的に問題に向き合っていく大切さに気づけるようにしました（第2号、第3号、第5号）。 	<p>p33</p> <p>p22、p65</p> <p>p31</p> <p>p67</p> <p>▲p33「建物の強度を高める工夫」</p> <p>▲p22「日本の木の文化を生かして」</p>
<p>B 編 生物育成の技術</p> <p>1 章 2 章 3 章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●農場や林業の施設の見学について学習できるようにし、職業観、勤労観の育成を目指しました（第2号）。 ●日本の各地域の特産となっている伝統野菜を紹介し、郷土への興味・関心を高め、継承することの大切さを考えられるよう配慮しました（第5号）。 ●別冊「スキルアシスト」に病害虫チェック」「ここで合ってる？」「収穫に適しているかな？」を設け、思考力、判断力を育成し、技能を自己評価できるよう工夫しました（第1号、第2号）。 ●養豚場で働く人のインタビューを通じて、私たちの食生活がほかの動物の命により支えられていることや、生命倫理について考えることができるように配慮しました（第4号）。 ●水産資源の有効利用では、日本の養殖技術が食料自給率の向上に貢献していくことや、川や海を取り巻く水環境を守るための工夫について紹介しました（第2号、第4号、第5号）。 	<p>p80-81</p> <p>p93</p> <p>別冊 p19、23、24</p> <p>p107</p> <p>p83、109</p> <p>▲p93「地域の伝統野菜」</p> <p>▶p83「LEDの光でカレイの成長を促進させる技術」</p>
<p>C 編 エネルギー変換の技術</p> <p>1 章 2 章 3 章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本が誇る技術の1つである「シールドマシンの技術」を取り上げ、日本の技術の発展を紹介するとともに、日本の技術が世界に貢献していることを紹介しました（第5号）。 ●さまざまな発電技術の特徴を示すことで、社会的・環境的・経済的な視点で技術を評価し、活用する能力を育成することを目指しました（第1号、第3号、第4号）。 ●自転車や電気機器、電池などの身近な製品の保守点検の技術を取り上げ、技術を適切に評価し活用する能力の育成を目指しました（第3号）。 ●エスカレータなどの技術の工夫について考え、技術の力によって問題を解決できることの大切さを示しました（第1号）。 ●エネルギー変換の技術をいかした製作に必要な知識や考え方を丁寧に取り上げ、生徒が主体的に電気回路や機構を使用した設計・計画ができるように工夫しました（第1号、第2号、第3号）。 ●電動車椅子を製作している技術者のインタビューを通じて、障がいのある人とともに支え合うことの大切さや、思いをもって主体的に問題を解決していくことの大切さを示しました（第2号、第3号）。 	<p>p112-113</p> <p>p121</p> <p>p130-131</p> <p>p132</p> <p>p118-119、126-127、146-151</p> <p>p169</p> <p>▲p130「保守点検の大切さを知ろう」</p> <p>▲p169「だれもが思い通りに移動できる未来へ」</p>

<p>D 編 情報の技術</p> <p>1 章 2 章 3 章 4 章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国産の遠隔手術ロボットや人工衛星（しきさい）を取り上げ、日本の技術が医療や健康、食料生産など国際社会に貢献していることを紹介しました（第1号、第5号）。 ●スマートフォンやタブレットなど、生徒の身近な製品を取り上げ、情報モラルや情報セキュリティを示しました（第2号）。 ●プログラムやさまざまなプログラミング言語を紹介するページを設け、生徒が主体的にプログラムの制作に取り組めるよう工夫しました（第1号、第2号）。 ●筋電義手の製作者を紹介し、障がいのある人とともに支え合うことの大切さを伝えるとともに、職業観、勤労観の育成を目指しました（第2号、第3号）。 ●コンピュータを使用する上での健康面についての配慮も取り上げました（第1号、第2号）。 ●AIによる音声合成の技術者のインタビューでは、自由に創造することへの思いや主体的に問題を解決していくことの大切さを示しました（第2号、第3号）。 <div data-bbox="343 555 719 712"> <p>▲ p193 「コンピュータを使うときの姿勢と環境」</p> </div> <div data-bbox="746 555 1123 801"> <p>▶ p186 「情報モラルと情報の扱いかた」</p> </div>	<p>p172-173、241</p> <p>p184-187</p> <p>p182-183、別冊 p30-38</p> <p>p191</p> <p>p193</p> <p>p243</p>
<p>E 編 夢をかなえる技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの学習の総括として、領域を横断したさまざまな技術を紹介し、工夫・創造することの大切さを示しました（第2号）。 ●AIと3Dプリンタをいかして作成した義足を紹介することで、障がいのある人とともに支え合うことの大切さを伝えるとともに、日本の技術が開発途上国をはじめとした国際社会に貢献していることを紹介しました（第3号、第5号）。 ▶ p249 「AI技術と3Dプリンタを活用して作成した義足」 <div data-bbox="767 891 1129 1151"> <p>AIによる機械学習で最適な足の形を計算。選定した材料を用いて3Dプリンタで成形を繰り返す。さらに、3Dプリンタの1/10以下の圧縮率で成形を繰り返し、最終的な足の形を構築することができる。3Dプリンタの導入により、個人に合わせた義足の作成が可能となっている。</p> </div>	<p>p246-249</p> <p>p249</p>
<p>巻末資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高校で学ぶ先輩や日本の技術を支える人々の想いを紹介し、自らの進路を考えると同時に、職業観、勤労観の育成を目指しました。 ●作物の品種改良の技術を紹介し、技術の知的財産の保護の大切さについて学習できることを目指しました。（第2号） ●「博物館に行ってみよう！」で、見学レポートに取り組みせ、生活の中から技術を発見できるように意識しました（第2号、第3号、第4号）。 ●環境の保全や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、未来の社会のイメージを示して、これからの未来を創造する生徒たちに改めて技術と社会の関わりを想像させることを意識しました（第4号、第5号）。 <div data-bbox="363 1518 762 1704"> <p>▲ p250 「先輩からのメッセージ」</p> </div> <div data-bbox="804 1518 1145 1756"> <p>▶ p253 「日本の技術を支える人々の想い」</p> </div>	<p>p250-251</p> <p>p253</p> <p>巻末④</p> <p>巻末⑤⑥</p>
<p>別冊 スキルアシスト</p> <p></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎技能を参照できるように、本紙よりもさらに詳しい手順や安全について示し、自ら問題を解決できる能力を育めるように構成しました（第1号）。 ●技能チェックにより、技能を自己評価できるようにしました。 <div data-bbox="687 1783 1145 2092"> <p>▶別冊「スキルアシスト」p4-5「切断」</p> </div>	<p>別冊全体</p> <p>別冊 p4、27</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 全ての生徒が使いやすい紙面への取り組み

①人権上の配慮

- 男女が協力して取り組む姿を写真として示しました。
- 写真やイラストに登場する男女の比率やキャラクターの役割に偏りが生じないように配慮しました。



②特別支援教育への配慮 特別支援教育の観点から、専門家の校閲を受けました。

- 使用書体は、UD 書体を使用し、全ての生徒にとって読みやすくなるよう配慮しました。
- 学習漢字以外にはふり仮名を付け、多様な生徒が平等に学べるよう配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み カラーバリアフリー の観点から専門家の校閲を受けました。

- 色のみでしか判断できない表現は避け、文字や模様、記号で識別できるよう配慮しました。

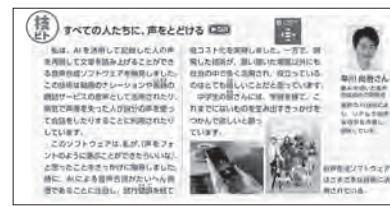
④造本上の工夫

- 教科書本紙の用紙の軽量化に努めました。製本は堅牢で長期の使用に耐えることができます。
- 再生紙、植物油インキを使用し、環境に配慮しました。

(2) 今日的な課題への取り組み

①現代的な諸問題への対応

- 今日的な課題に対応したマークを付けて、社会や生活の問題や技術との関わりを示しました。
- 持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標のマークを関連する学習内容に付けて、日本や世界で起こる諸問題を、自らに関わる課題として捉えられるようにしました。



▲ p243 「すべての人たちに、声をとどける」

②教育の ICT 化への対応 (GIGA 端末の活用と安全な利用)

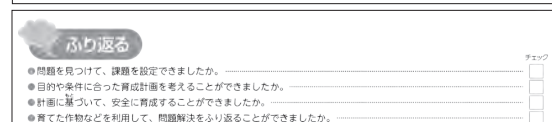
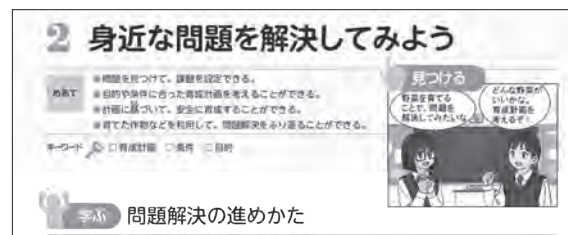
- QR コンテンツに動画や資料を用意し、生徒の興味・関心を高め、学習の理解を深められるようにしました。
- 情報手段やネットワークを安全に利用できるよう、注意喚起のページを多く掲載しました。
- 生徒が主体的にプログラミング学習に取り組めるよう、基本となるプログラムを多く掲載しました。



▲別冊「スキルアシスト」p36-37
「なでこのプログラム例」

③授業支援、教員の負担軽減への対応

- 節の冒頭に「めあて」を示すことで、育成すべき資質・能力を明確にしました。
- 節の末に「めあて」に対応した「ふり返る」を設け、自己評価を行い、学習を振り返れるように工夫しました。
- 別冊「スキルアシスト」には、技能を写真と比べて自己評価できるよう「技能チェック」を設けました。
- リンクマーク 関連 により、小学校や中学校、他教科での学習内容との関連を示しました。
- 別冊「スキルアシスト」 、QR コンテンツ の動画により、確かな技能が習得できるように構成しました。



▲ p90 「めあて」 / p101 「ふり返る」

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105 - 78	中学校	技術・家庭	技術・家庭 (技術分野)	第 1 ~ 3 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
6 教図	技術 006-73 技術 006-74	新 技術・家庭 新 技術・家庭	技術分野 明日を創造する 技術分野 明日を創造する	スキルアシスト

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1 興味・関心を高め、技術の見方・考え方を養うことができる教科書

①学力の三つの柱と対応した章立て

教科書内の、A、B、C、D 編と 1、2、3 (、4) 章の構成が、「学力の三つの柱」に対応しています。

(1) 知識・技能

A、B、C、D 編 1 章

知識

別冊「スキルアシスト」

技能

(2) 思考力・判断力・表現力

A、B、C 編 2 章
D 編 2、3 章

(3) 学びに向かう力

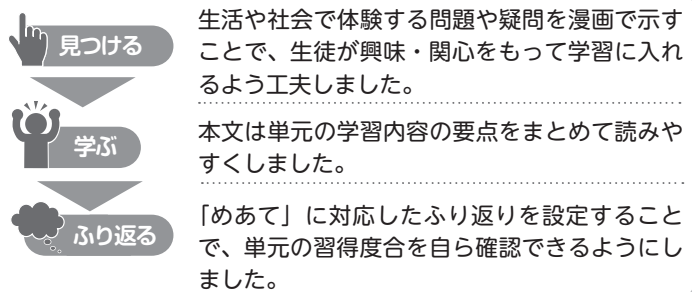
A、B、C 編 3 章
D 編 4 章

②授業の流れが見える紙面

「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」という学習の流れを「3ステップ」で明確にすることで、生徒が本文を読み進めやすく、技術の見方・考え方を養うことができました。



▲ p16-17 「材料と加工の技術を見つけよう」



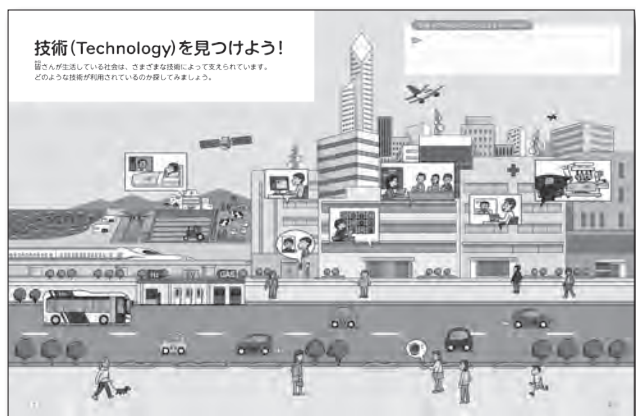
写真と見比べることで技能を自己評価できる「技能チェック」を設けました。



▶別冊「スキルアシスト」p4、27



③興味・関心を高める工夫



▲巻頭①-②「技術 (Technology) を見つけよう!」

生活や社会に役立っている「技術」を多数紹介することで、生徒の興味・関心を高め、主体的な学びを目指します。



▲ p114-115 「エネルギー変換の技術を見つけよう」

技術による問題解決に主体的に取り組むことができる教科書

①実習前に安全を学ぶ



▲p34-35「実習の安全な進め方をしよう」

実習に入る前に、安全で楽しく実習を行うための決まりごとを示しました。各編すべてで取り上げました。

A、B、C、D 編いずれでも、
実習題材に入る前に、
その学習に応じた、
安全学習を行います！



生徒が作業の見通しをもち、事故防止に取り組めるよう、危険な作業には安全マークを付けました。

②問題解決の流れをつかむ



▲p36-37「問題を解決する流れを考えよう」

生徒に親しみのある漫画で、技術による問題解決の流れを4ステップで分かりやすく学ぶことができます。



「プチ」問題解決にチャレンジ!

簡単な製作・制作・育成に取り組み、必要な基礎技能の習得や安全な作業の進め方を学ぶことができます。



▲p38-41「プチ問題解決にチャレンジ!!」

別冊「スキルアシスト」

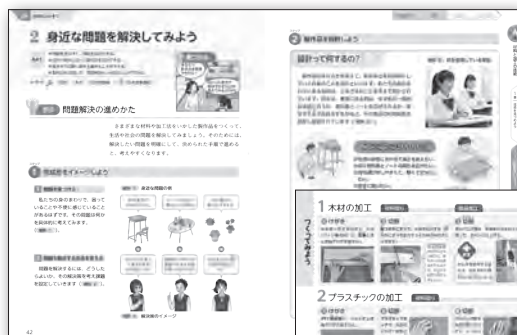


本書での実習を進める上で、安全で正確な技能を習得したいときに参考にできます。

実習のエッセンスが詰まっています!

◀別冊p4

③身近な問題解決に取り組む



「プチ問題解決」での経験をいかし、生徒自ら問題を見つけて、設計・計画をして題材を製作することができます。

教科書を見て実習題材を完成できるよう、作業手順を1つ1つ丁寧に解説しました!



▲p42-60「身近な問題を解決してみよう」

▼巻末、QR「設計・計画シート」「計画・育成シート」



自分の設計・計画を実現できる「設計・計画（計画・育成）シート」を巻末につけました。またQRコンテンツからダウンロードできます!

社会の問題を自ら考え、解決に取り組む力を育成する教科書

①社会の問題を自らの問題に、未来を創造できる生徒を育成する

3章「未来をつくろう」では、技術の発展により生み出されるさまざまな技術のプラス面とマイナス面を考え、誠実な技術のいかし方を考えられるよう構成しました。

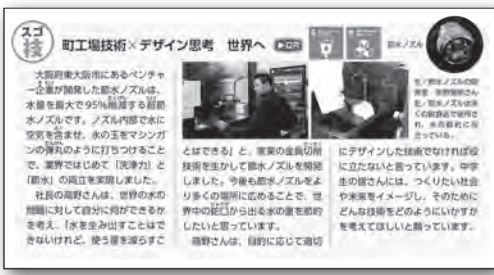


例を参考にして、自分で生活や社会で活用されている技術のプラス面とマイナス面を考えることができます！

▲ p108-110 「社会の発展と生物育成の技術」

社会で活躍する技術者の思いや製品に込められた工夫から、主体的に問題解決に取り組む大切さに気づかせます。

より学習を深められるように、QRコンテンツにインタビュー動画を掲載しています。



▲ p67 「町工場技術×デザイン思考 世界へ」



▲ p169 「だれもが思い通りに移動できる未来へ」

②中学校の「技術」を高等学校や社会でいかす

中学校にしかない「技術」の授業での学びが、高等学校での学習や社会でいかされていることを紹介するページを設けました。

進路選択の一助として、高等学校で活躍する先輩からのメッセージを掲載しています。



▲ p250-251 「先輩からのメッセージ」

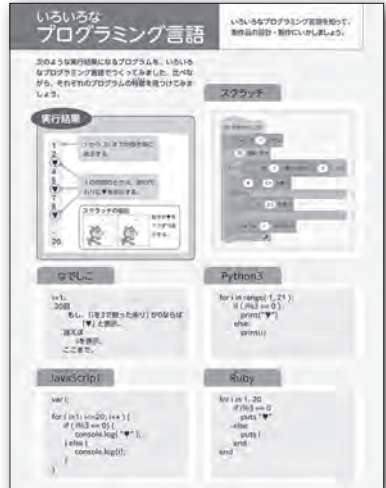


伝統工法や品種改良の開発に取り組む技術者を紹介し、日本が世界に誇る技術を守り、発展に尽力する人々の想いを紹介しています。

高等学校、大学、社会へとつながるよう、多様なプログラミング言語を紹介しています。



▲ p252-253 「日本の技術を支える人々の想い」



▲別冊 p38 「いろいろなプログラミング言語」

観点別特色の一覧

学びの系統性・連続性	<p>①学習指導要領に沿った配列とし、「A編 材料と加工の技術」「B編 生物育成の技術」「C編 エネルギー変換の技術」「D編 情報の技術」の順に構成しています。</p> <p>②1章は社会を支える技術、2章は技術による問題の解決（【D編 情報の技術】は2章3章）、3章は社会の発展と技術（【D編 情報の技術】は4章）と技術の3要素を学習しやすいように段階的に配列しています。</p> <p>③小学校や中学校の他教科の学習との関連を、リンクマークで示しています。（p72、114、116、118、174など）</p>
配列・分量・他	<p>①それぞれの編の各章、各節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述しています。</p> <p>②各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成しています。</p>
資質・能力の育成	<p>【知識・技能】</p> <p>①「見つける・学ぶ・振り返る」を基本配列としました。「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「振り返る」で学習理解の確認ができます。（p16-17、18-29など各節）</p> <p>②2章の「プチ問題解決」の製作題材は基礎技能が学べる易しい題材とし、2章（【D編 情報の技術】は2章3章）の「題材例」では1つ1つの作業工程を丁寧に示し、教科書と別冊「スキルアシスト」により、確かな技能を身に付けることができます。（p36-60、86-100、138-162、196-214、222-236、別冊p2-39、裏表紙）</p> <p>③技能資料を別冊「スキルアシスト」に掲載しています。（別冊p2-39、裏表紙） 加工法の確認や実習中に作業を確認できるようにしています。作業工程や時間の設定の参考にでき、見通しをもった設計・計画を可能にします。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>①技術による問題解決の流れを丁寧に説明することにより、生徒が自らの問題解決に取り組むことができます。（p36-37、42-60、86-87、90-100、138-139、144-162、196-197、200-214、222-223、226-236）</p> <p>②設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒自らの問題解決を実現できるようにしています。（p43-53、91-95、146-153、202-207、228-231）</p> <p>③生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」を巻末に切り取り式シートで用意しています。記入見本を提示することで、表現することに難しさを感じる生徒も取り組みやすくなるよう配慮しています。（p53、94-95、152-153、207、231）</p> <p>④各編の最終章に「社会の発展と技術」におけるプラス面とマイナス面の資料を掲載して、自ら考え判断できる内容にしました。（p66-68、108-110、168-170、242-244）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけを設けています。（p28、33、53、60、68、73、81、83、94など）</p> <p>②3章には社会と関連させたサステナビリティの資料を掲載し、社会の問題を自らの問題として主体的に取り組んでいけるようにしています。（p66-68、108-110、168-170、242-244）</p>
学習評価	<p>①各節の冒頭に観点別評価につながる「めあて」と、各節の末には、自己評価につながる「振り返る」を設けています。</p> <p>②各編末には「編のまとめ」を設け、学習を振り返り、理解度を確認できるようにしました。（p69、111、171、245）</p> <p>③別冊「スキルアシスト」では、技能を自己評価できるように「技能チェック」を設けました。（別冊p4、27）</p>
安全への配慮	①安全のマークだけではなく、必ず注意してほしい内容を図説で解説しています。（p34-35、84-85、136-137、192-193）
知的財産	①特許や意匠など、知的財産に関する資料を各編で取り上げています。（p45、134、167、187、253）
人権、福祉	①写真やイラストに登場する男女の比率、役割などに偏りがないように配慮しました。
特別支援教育	①ガイダンスに特別支援学校での実習の事例を掲載しました。（p6-7）
情報モラル	①【D編 情報の技術】では、「情報モラル」を取り上げ、資料・図説の解説だけではなく、「やってみよう」で実際の事例ができるようにしています。（p186）
今日的な課題への対応	①環境・衛生・伝統文化・知的財産・安全・情報モラル・共生・消費者・防災のマークを設定して、生徒が一目で分かるようにしています。
教育のICT化への対応	<p>①「設計・計画シート」をPDFファイルでも提供しています。（p53、94-95、152-153、207、231、巻末切り取り式シート）</p> <p>②QRコンテンツに学習を深め、動きの確認などができるデジタル資料を掲載します。（p21、38、54、65、別冊p4、6など）</p>
伝統文化の尊重	①日本の伝統的な加工法や、伝統技術をいかし活躍する技術者の技術や思いを紹介しています。（p22、23、65、252など）
地域性の配慮	<p>①各編に各地域の伝統文化や産業を掲載しました。（p65、82、93、133、167、173など）</p> <p>②各地域の職業人へのインタビューや、全国の博物館の情報を掲載しています。（p22、65、107、後④など）</p>
ユニバーサルデザイン	<p>①書体はUD書体（ユニバーサルデザイン書体）を使用しています。</p> <p>②カラーバリアフリーの観点から、色覚に関する専門家の校閲を受けています。</p>
文字、印刷、製本	<p>①生徒が読みやすいように、本文の文字の大きさに配慮しました。</p> <p>②学習内容の重要語句は、視認性を上げるために、青太文字にしました。</p> <p>③見やすく理解しやすい紙面の実現と、机上のスペースの確保のためにAB判縦長変形としました。</p>

2. 対照表

内容	章	ページ	番号	タイトル・題材名	要素・項目	観点	キーワード	配当 時数	合計		
ガイダンス		①- 13		技術を見つけよう、技術ではどんなことを学ぶのかな？、学習内容への道案内【目次】、それぞれどんな技術があるのかな？、技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る、技術の問題解決ってなに？、この教科書の使い方、学習を楽しく安全に進めるために	ABCD	知識・技能、態度	安全・衛生・環境・共生・防災	2	2		
材料と加工の技術 A編	1章	16-17	1	材料と加工の技術を見つけよう	A(1) ア	知識・技能、態度	環境	1	20		
		18-29	2	材料の特性と加工法を知ろう	A(1) ア	知識・技能	防災				
		30-31	3	材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう	A(1) イ	思考・判断・表現	環境				
		32-33	4	1章で学んだことをまとめよう	A(1) アイ	知識・技能、態度	伝統				
	2章	34-35	特集	1	実習の安全な進め方を知ろう	A(2) ア	知識・技能、安全	安全・衛生		3	
		36-41	1	問題を解決する流れを考えよう	A(2) アイ	思考・判断・表現	安全・衛生				
		42-63	2	身近な問題を解決してみよう	A(2) アイ	思考・判断・表現	知財				
		64-65	3	2章で学んだことをまとめよう	A(2) アイ	思考・判断・表現、態度	伝統				
	3章	66-68	1	社会の発展と材料と加工の技術	A(3) アイ	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境・共生	2			
		69		A編のまとめ	A(1)(2)(3)	知識・技能、思考・判断・表現、態度	共生				
生物育成の技術 B編	1章	72-73	1	生物を育てる技術を見つけよう	B(1) ア	知識・技能、態度	環境	1	15		
		74-79	2	生物を育てる技術を知ろう	B(1) ア	知識・技能	環境				
		80-81	3	生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう	B(1) イ	思考・判断・表現	環境・衛生				
		82-83	4	1章で学んだことをまとめよう	B(1) アイ	知識・技能、態度	環境				
	2章	84-85	特集	1	実習や見学の安全な進め方を知ろう	B(2) ア	知識・技能	安全・衛生		3	
		86-89	1	問題を解決する流れを考えよう	B(2) アイ	思考・判断・表現	安全・衛生				
		90-105	2	身近な問題を解決してみよう	B(2) アイ	思考・判断・表現	知財				
	3章	106-107	3	2章で学んだことをまとめよう	B(2) アイ	思考・判断・表現、態度	生命倫理	1		2	
		108-110	1	社会の発展と生物育成の技術	B(3) アイ	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境・知財・共生	2			
		111		B編のまとめ	B(1)(2)(3)	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境				
エネルギー変換の技術 C編	1章	114-115	1	エネルギー変換の技術を見つけよう	C(1) ア	知識・技能、態度	環境	1	18		
		116-117	2	電気に関する技術を知ろう	C(1) ア	知識・技能	環境				
		118-119	3	電気回路のつくりかたを知ろう	C(1) ア	知識・技能	環境				
		120-123	4	発電について知ろう	C(1) ア	知識・技能	環境				
		124-125	5	電気の安全な使いかたを知ろう	C(1) ア(2) ア	知識・技能	安全・衛生				
		126-129	6	機械に関する技術を知ろう	C(1) ア	知識・技能	安全				
		130-131	7	保守点検の大切さを知ろう	C(1) ア(2) ア	知識・技能	安全				
		132-133	8	エネルギーを変換する技術の工夫を調べ考えよう	C(1) イ	知識・技能	防災				
	2章	134-135	9	1章で学んだことをまとめよう	C(1) アイ	知識・技能、態度	安全	0.5			
		136-137	特集	1	実習の安全な進め方を知ろう	C(2) ア	思考・判断・表現			知財	
		138-143	1	問題を解決する流れを考えよう	C(2) アイ	思考・判断・表現	安全				
		144-165	2	身近な問題を解決してみよう	C(2) アイ	思考・判断・表現	知財				
	3章	166-167	3	2章で学んだことをまとめよう	C(2) アイ	思考・判断・表現、態度	共生	1		2	
		168-170	1	社会の発展とエネルギー変換の技術	C(3) アイ	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境・消費者	2			
		171		C編のまとめ	C(1)(2)(3)	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境・共生				
情報の技術 D編	1章	174-175	1	情報の技術を見つけよう	D(1) ア	知識・技能、態度	安全・防災	1	30		
		176-179	2	コンピュータが情報を処理するしくみを知ろう	D(1) ア	知識・技能	共生				
		180-181	3	情報通信ネットワークのしくみを知ろう	D(1) ア	知識・技能	共生				
		182-183	4	プログラムの基本的な構造を知ろう	D(1) ア	知識・技能	知財・モラル	0.5			
		184-187	5	情報セキュリティと情報モラルを知ろう	D(1) ア	知識・技能	モラル・知財・衛生	1			
		188-189	6	情報の技術の工夫を調べ考えよう	D(1) イ	思考・判断・表現	安全・共生	0.5			
		190-191	7	1章で学んだことをまとめよう	D(1) アイ	知識・技能、態度	知財・モラル	0.5			
	2章	192-193	特集	1	実習の安全な進め方を知ろう	D(2) ア	知識・技能	安全・衛生		0.5	
		194-195	1	双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう	D(2) ア	知識・技能	消費者				
		196-199	2	問題を解決する流れを考えよう	D(2) アイ	思考・判断・表現	知財・モラル				
		200-217	3	身近な問題を解決してみよう	D(2) アイ	思考・判断・表現	知財・モラル				
		218-219	4	2章で学んだことをまとめよう	D(2) アイ	思考・判断・表現、態度	共生				
	3章	220-221	1	計測・制御システムの技術を知ろう	D(3) ア	知識・技能	安全・防災	2			
		222-225	2	問題を解決する流れを考えよう	D(3) アイ	思考・判断・表現	知財・モラル				
		226-239	3	身近な問題を解決してみよう	D(3) アイ	思考・判断・表現	知財・モラル				
		240-241	4	3章で学んだことをまとめよう	D(3) アイ	思考・判断・表現、態度	共生				
	4章	242-244	1	社会の発展と情報の技術	D(4) アイ	知識・技能、思考・判断・表現、態度	モラル・知財・共生	2			
		245		D編のまとめ	D(1)(2)(3)(4)	知識・技能、思考・判断・表現、態度	環境・共生				
	技術夢をかなえる E編		246-249		夢をかなえる技術	A(2)B(2)C(2)D(2)(3)	思考・判断・表現、態度	環境・共生		1.5	1.5
	ファイナル		250-⑥		先輩からのメッセージ、日本の技術を支える人々の想い、さくいん、博物館に行ってみよう、未来の社会を創造しよう	ABCD	思考・判断・表現、態度	環境・共生		1	1
切り取り ワークシート		A～D編		設計・計画シートにまとめよう	ABCD(2)イD(3)イ	思考・判断・表現					
別冊 スキルアシスト		2-13	A編	けがき、切断、切削、穴あけ、折り曲げ、組み立て、仕上げ	A(2)イ	知識・技能					
		14-24	B編	作物を育てる技術表、用具、土・培養液、肥料、病害虫、成長管理	B(2)イ	知識・技能					
		25-29	C編	組み立て、はんだづけ、回路計	C(2)イ	知識・技能					
		30-39	D編	プログラミング言語、基本操作、キー入力お助けグッズ(裏表紙)	D(2)イ	知識・技能					

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105 - 78	中学校	技術・家庭	技術・家庭（技術分野）	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
6 教図	技術 006-73 技術 006-74	新 技術・家庭 新 技術・家庭	技術分野 明日を創造する 技術分野 明日を創造する	スキルアシスト

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし			
合計				0